

しかまの里 倫理綱領

この倫理綱領は、国が定めた「老人福祉施設の使命」をうたった条文にそってつくったものです。私たち、「しかまの里」老人福祉施設で働く者は、この倫理綱領に従って運営活動する義務があるのです。

【制定：平成13年6月1日】

【前 文】

老人福祉施設は、わが国を豊かでやすらぎのある高齢社会とするために大きな役割を担っており、そこに働く私たちには、すべての国民から大きな期待が寄せられています。

この期待に応えるためには、関係法令を遵守するだけにとどまらず、利用者に対しノーマライゼーションと人権尊重の理念に基づき、専門的サービスを提供する義務があり、社会の信頼に応えるために、公平・公正なサービスの実現に努める必要があります。

私たちはこのような自覚と決意をさらに強固なものとするため、老人福祉施設で働くすべての人々が厳守すべき「老人福祉施設倫理綱領」をここに定めます。

【条 文】

1. 施設の使命

しかまの里は、地域社会の指示を受けて、高齢者が地域で安心して生活を送ることができる、拠点施設となることを使命とします。

2. 公平・公正な施設運営の遵守

しかまの里で働く私たちは、高齢者の生活と人権を擁護するために、自己点検を強化し、公平、公正な開かれた施設運営に努めます。

3. 利用者の生活の質の向上

しかまの里で働く私たちは、利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重し、可能性の実現と生活の質の向上に努めます。

4. 従事者の資質・専門性の向上

しかまの里で働く私たちは、常に誠意をもって質の高いサービスが提供できるよう研修・研究に励み、専門性の向上に努めます。

5. 地域福祉の向上

しかまの里で働く私たちは、地域社会の一員としての自覚を持ち、保健・医療等関連分野との連携を強化し、地域福祉の向上に努めます。

6. 国際的視野での活動

しかまの里で働く私たちは、諸外国との交流を促進し、国際的視野にたち、相互の理解を深め、福祉の推進に資するよう努めます。